

〔目的〕寝具類は保健衛生上、軽量化傾向にあるが老人と女子短大生との寢床現状を明らかにし、寝具類の衛生面を検討する。〔方法〕寝具類の重量計測は昭57.11.9～59.3.3まで。被検者は下関市内の健康な老人(男5名女11名、年齢66～88才)と女短生(15名、18～20才)。〔結果〕一休表面積あたりの寝具類重量—(%) 寢床の掛寝具・敷寝具および寝衣の重量が単位体

月	寝衣			敷寝具			掛寝具		
	老人女	老人男	女短生	老人女	老人男	女短生	老人女	老人男	女短生
1	711	569	295	5014	6206	4186	5576	5603	5046
2	634	757	288	5263	5674	4273	5885	5835	5298
3	619	644	328	5171	5945	4198	6035	5803	5151
4	512	576	287	5018	5935	4228	5276	5163	4769
5	410	432	281	4559	5505	4027	3174	2899	4601
6	319	387	210	4393	4953	3804	2497	2361	2677
7	245	347	220	4281	4931	3932	1187	1583	1218
8	209	336	204	4017	4119	3702	1141	1229	1313
9	260	309	228	3938	3961	3200	1373	2701	1916
10	451	489	234	4208	5319	4078	4328	3704	3645
11	613	522	274	4500	5642	3920	5124	3861	4486
12	644	559	292	4751	6107	4019	5562	4944	4780

表面積(%)および単位体重(%)あたり、いかになるかを検討した。休表面積あたりの寝具類重量は左表の通り。寝衣・敷寝具：女短生<老人女<老人男；掛寝具：女短生<老人男<老人女の順であった。寝衣・掛寝具は重量変化が著るしく、特に老人の冬の寝衣層は厚く重い(女短生の春季の寝衣重量を1とした場合、老人男の寝衣・2月は2.53であった)。電気毛布の使用者は寝具総重量や寝衣重量が、不使用者より重いことが明かとなった(上記の結果は1%以下の危険率で有意)。体重あたりの寝具類重量は、寝衣・掛寝具：女短生<老人男<老人女；敷寝具：女短生<老人女<老人男の順であった。寝衣・敷寝具は8～9月が軽く1～2月が重く、掛寝具は7～8月が軽く2月が重い(この掛寝具の結果のみは1%以下の危険率で有意)。